



青陵中学校図書館  
の本を探す

## 6月は食育月間 新展示『食べる』



私たちが毎日必ずする行為の一つ「食べる」。2005年に制定された「食育基本法」では「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である」としています。

ところで「食育」という言葉はいつから使われ始めたのでしょうか。広辞苑（第6版、2008年）によると、

食育—食材・食習慣・栄養など、食に関する教育。食生活の変化を背景として二〇〇〇年頃から広く言う語。村井玄齋、*食道楽* 「小児には徳育よりも体育よりも食育が先き」

用例で示された村井玄齋著『*食道楽*』は1903年から1年間報知新聞で連載されていた元祖グルメ小説で、社会現象を引き起こすほどのベストセラーだったそうです。主人公のお登和が作る600種類以上の料理（オムライスやワッフルなどの今では定番とされるものから牛の脳みそ料理、イチゴライスなど味の想像ができないものまで！）や食に関する話題が収められていて、「食育」という言葉や考え方が100年以上前からあったことがわかります。

栄養についての知識、食べ物はどこから来てどこへ行くのか、食文化、食の安全、健康な体づくり、料理、食料自給率や食品ロスなど食を取り巻く状況…この世の中に食べることと無関係な人は誰もいません。食に興味を持つこと、食に関わる力をつけること、食を大切にすることは、みなさんの人生を豊かに、世の中を幸せにしてくれるはずです。

### 青空文庫で読んでみよう！

村井玄齋著『*食道楽*』  
第二百五十二段で  
「食育論」が語られている。



☆青空文庫(<https://www.oozora.gr.jp/>)とは、著作権が消滅した作品などを誰でも自由に読めるように集めた電子書籍サービスです。

### 食を取り巻く状況を知ろう！

農林水産省 HP より



日本の食料自給率



食品ロス

### にっぽん伝統食図鑑

各地域で選定された伝統食のいわれ・歴史やレシピ等、また、伝統食を生んだ地域の背景等についてのデータベース



# 今月の新着図書

分類記号	書名	著／編者	出版者
210ニ	実は科学的!?江戸時代の生活百景	西田知己	東京堂出版
216モ	京都はじまり物語 <b>PICK UP!</b>	森谷尅久	東京堂出版
291キ	京都の地名由来辞典	源城政好	東京堂出版
291ナ	奈良の地名由来辞典	池田末則	東京堂出版
913セ	近畿地方のある場所について <b>PICK UP!</b>	背筋	KADOKAWA
913ア	青に沈む君にこの光を	汐見夏衛ほか	スターツ出版
913キ	だってバズりたいじゃないですか	喜友名トト	新潮社
913タ	おとぎカンパニー <small>名作童話をショートショートに。朝読書におすすめ。</small>	田丸雅智	光文社
913ヒ	火狩りの王 3 牙ノ火	日向理恵子	KADOKAWA
913ヒ	火狩りの王 4 星ノ火	日向理恵子	KADOKAWA
914ク	小さいときから考えてきたこと	黒柳徹子	新潮社

江戸時代の人々の暮らしや知識を、科学の視点から取り上げた本。江戸時代の図版が豊富に使われていて、現代と比べても意外と進んでいた暮らしぶりがよくわかる。

亡くなった恋人との日々が感動の実話として映画化されたことに複雑な思いを抱える主人公。MV制作に関わることで再び人生が動き出す…

じっとしていられなかった子ども時代や、コンボ、アフガニスタンなど紛争地での出会いなど…筆者の唯一無二のキャラクターが魅力的!親しみやすい文章なので読書が苦手な人にもおすすめ。

書影はすべて出版社の使用許諾済



**PICK UP!**

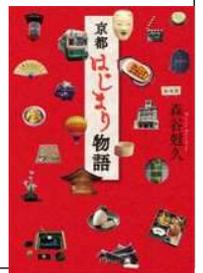


## 司書イチオシ本 近畿地方のある場所について

虚構の物語をドキュメンタリー風の手法で表現した作品のことをモキュメンタリーといい、代表的な作品に雨穴著『変な家』などがある。特にモキュメンタリー・ホラーは「これはフィクションだから」と言い切れない感覚になるせいか、読んでいてとても怖い。架空のブログや手紙、ネット掲示板、雑誌の記事、インタビュー、噂話など断片的な情報が少しずつ積み上げられ、気が付いた時には、窓の外や背後に見てはいけない“アレ”がいるような感覚に戦慄することとなる。司書がここ数年読んだ中では間違いなく「怖い本」ダントツの一位!あなたは読む勇氣ありますか…?

## 京都はじまり物語

伝統と歴史のまち京都は古くから文化や祭事を中心地で、天皇、公家、僧侶、武将など各時代における文化人のトップが集まっていた。湯豆腐やかきた、能楽、茶の栽培など、私たちの身近な物事の「はじめて」が京都発祥であるのも当然のことかもしれない。また、喫茶店、フランスパン、映画、学生服・セーラー服の製造、駅伝、トイレ…の「はじめて」も京都。実は京都人が「無類の新しもん好き」と言われ、東京や大阪に先駆けて近代化に着手し、時代の最先端を発信する側であった。読み物としてもおもしろく、調べものにも使いやすい。数ある京都に関する本の中でも特におすすめ。



## 俳句コンテスト作品募集のお知らせ

### 応募のきまり

- ・オリジナル作品であること
- ・図書館や本、読書に関わるテーマ
- ・季語はなくても可
- ・1人何作でも応募可
- ・ペンネーム可

### 応募方法

図書館で応募用紙と募集要項をお渡しします。完成した作品は司書に渡してください。作品募集期間は6/24~7/5

俳句を作ることで読書や図書館に親しみを持ってもらうことを目的としたコンテストです。